

飯山市財務会計システム調達に係る情報提供依頼書  
(RFI : Request For Information)

令和7年(2025年)8月

長野県飯山市 総務部事業戦略課

## 1. 背景と目的

飯山市では財務会計システムとして実施計画／行政評価、予算編成、予算管理、予算執行、出納管理、決算管理、決算統計、起債管理、備品管理等の機能を利用しています。現行システム（運用環境）は2019年から利用していますが、システムのサポート期限や、利用中のデータセンターの都合等から、新たな財務会計システムへの移行を検討しています。

あわせて、飯山市第6次総合計画に掲げる将来都市像及び将来都市像を実現に向けて、各種施策をデジタル技術やデータの活用により、強力に推進・課題解決するための計画である「飯山市DX推進計画」に位置付けられた「基盤整備・構築」の取り組みを踏まえ、財務会計システム上での電子決裁機能の導入についても、新たに検討します。

これらを踏まえ、効率的な業務を実現するための機能、充実した運用サポート、コスト評価等について高度な見識を有する事業者から広く意見を収集し、本市にとって最適なシステム移行が可能となるよう、広く情報提供を求めるものです。

## 2. 情報提供を求めるシステム、事業者

本件は飯山市（以下、本市）で導入を検討している財務会計システムに関して、下記のすべてに該当するシステムおよびサポートを有する事業者からの情報提供を求めるものです。

- ・本市と同規模の地方公共団体において複数の導入実績のある財務会計システムであること
- ・本市と同規模の地方公共団体においてサポート実績を有している事業者であること

## 3. 参加申込書の提出

本情報提供依頼（RFI）への参加を希望する事業者は、本書の内容を踏まえ、「飯山市財務会計システム調達に係る情報提供依頼 参加申込書」を電子メールにて提出してください。

- ・提出期限：令和7年（2025年）年8月20日まで
- ・提出先：本書「9 本件に関する問合せ先」に記載のメールアドレス宛

※参加申込書を提出いただいた事業者には、後に、機能要件書（飯山市指定様式）を電子メールにて送付します。

## 4. 情報提供依頼事項

資料の作成にあたっては、次の各項に記載する内容等を記載してください。なお、本RFIでは次の事項を前提条件として情報提供をお願いします。

- ・パッケージシステムの導入が前提であること
- ・ネットワーク環境は、原則として既存の庁内LAN（LGWAN接続系）を利用することとし、庁内LANに接続した既存端末を利用すること
- ・システムの提供形態はクラウド方式であること（LGWAN-ASP、独自のデータセンター利用など）
- ・電子決裁機能を搭載すること。

### 4.1 システムの構成

- ・ ネットワーク構成、サーバ構成
- ・ クライアントに求める推奨リソース

- ・ システム稼働に必要なソフトウェア製品、ライセンス
- ・ 推奨通信速度、通信プロトコル など

#### 4.2 業務システムの機能

- ・ 機能詳細（別添「基本要件確認シート」参照）
- ・ 電子決裁機能の詳細
- ・ 法改正対応、カスタマイズ対応の方針、考え方
- ・ 他システム（人事給与システム、基幹系システム、総合収納システム）とのデータ連携の考え方など

#### 4.3 バックアップ

- ・ データバックアップの方法、保存期間 など

#### 4.4 運用・保守

- ・ システムの円滑な運用に必要となる業務内容および体制  
全体管理、ソフトウェア製品の保守、年度更新対応、構成管理等の維持管理、性能・リソース管理、システムチューニング、セキュリティ、システム改善の検討、操作等の問合せ対応、障害時の対応 など

#### 4.5 導入スケジュール

- ・ 期間、想定スケジュール、体制（受注から本稼働までの作業工程および体制等）

#### 4.6 データ移行方法

- ・ 新システムへのデータ移行の考え方  
（現行システムおよび契約事業者）

システム：ジャパンシステム株式会社「FAST 財務会計システム」

契約事業者：株式会社 電算

本市では、現行システムに蓄積された全データを新システムへ移行することを希望しますが、事業者におけるデータ移行の基本的な考え方や対応方針について伺うものです。

#### 4.7 概算費用

概算費用について、概算見積書（飯山市指定様式）にて提出してください。

- ・ 開発・構築費（イニシャルコスト）
- ・ システム利用料、5年間の運用・保守費（ランニングコスト）
- ・ 新たに市庁舎と通信回線を敷設する場合の費用（初期、利用料）
- ・ データ移行費用  
現在使用している業務システム（実施計画／行政評価、予算編成、予算執行、決算統計、起債管理、備品管理）の全データを取り込むために必要な費用
- ・ 現時点で想定されるカスタマイズ費用
- ・ その他必要となる費用

#### 4.8 導入および運用支援

- ・ 操作研修の方法（実機研修、操作マニュアルの提供方法） など

#### 4.9 導入実績

- ・ 地方公共団体への導入実績および他ベンダからの移行実績

#### 4.10 その他

- ・ 提案にあたり前提条件がある場合は、明示してください。
- ・ 運用経費の削減または業務効率の改善を行うための機能、構成および運用方法等であれば、本書に記載していないことであってもご提案ください。

### 5. 情報等の取り扱い

本 RFI において提供を受けた情報、資料は次の通り取り扱います。

- (1) 本 RFI は、財務会計システム導入に関する実現性を確認するための技術や予算規模について、広く情報を得るためのものであり、それをもって将来のシステム導入を約束するものではありません。
- (2) ご提供いただいた資料は、本市で使用するものであり、提出者に断りなく第三者への提供・配布は行いません。ただし、提供を受けた提案・資料等は、今後実施を予定する調達への参考とする場合があります。
- (3) 今回の情報提供依頼に参加しない場合であっても、今後行われる予定の調達等で不利益に扱われることはありません。
- (4) 本 RFI に係る資料の作成および提出等に要する費用は提出者の負担とします。
- (5) 提出していただいた情報および資料は返却しません。
- (6) 提出いただいた資料について詳細を確認させていただく場合がありますので、その際にご協力をお願いいたします。

### 6. 本件に関する質問

本 RFI の質問については、次の通り実施してください。

#### 6.1 質問方法

- ・ 受付期限：令和 7 年（2025 年）8 月 25 日
  - ・ 送付方法：質問書（飯山市指定様式）により、電子メールにて送付してください。
  - ・ 送付先：本書「9 本件に関する問合せ先」に記載のメールアドレス
- ※必要に応じて補足資料等の添付は可能ですが、質問内容は必ず質問書（飯山市指定様式）内に記載してください。

#### 6.2 回答方法

- ・ 質問に対する回答期限：令和 7 年（2025 年）9 月 3 日
  - ・ 送付方法：回答を作成次第、電子メールにて返信します。
- ※回答は、質問を提出された事業者に対して行うとともに、同様の情報を RFI 参加事業者全体にも展開いたします。なお、質問時に添付された資料等については、当該事業者固有の情報であることから、他の参加事業者へは展開いたしません。

## 7. 資料の提出方法等

本 RFI の提出資料及び提出方法等は次の通り実施してください。

### 7.1 提出資料

本書を参照のうえ、下記の情報に関する資料を提出してください。

- ・ 本書「4. 情報提供依頼事項」に記載のうち、以下の情報を除いた提供を求める情報（任意様式）
- ・ 機能要件書（飯山市指定様式に記入）
- ・ 概算見積書（飯山市指定様式に記入）

### 7.2 資料の形式、提出方法

資料は Microsoft Office（Word、Excel、PowerPoint）形式もしくは PDF 形式として作成し、下記の提出先へメールで提出してください。ファイルサイズが大きく、メール送付に適さない場合は本市で利用しているファイル共有サービスの利用が可能ですので、個別にご相談ください。

提出期限：令和 7 年（2025 年）9 月 12 日

提出先：本書「9 本件に関する問合せ先」に記載のメールアドレス

## 8. 更新スケジュール（予定）

更新に関するスケジュールは下記を予定しています。

日程	項目	備考
2025 年 8 月～9 月	情報提供依頼（RFI）	
2025 年 10 月～2025 年 3 月	情報整理、方針検討	
2026 年 5 月	提案依頼（RFP）	
2026 年 6 月	システム導入事業者内定、契約	
2027 年 2 月 頃	次期システム稼働（予算編成後）	新旧システム並行稼働（※） なお、旧システムは決算統計まで利用

※データの完全移行が可能な場合は、新旧システムの並行稼働は行わず一斉切替も可能とする。

## 9. 本件に関する問合せ先

飯山市役所 事業戦略課 DX 推進係（担当：萩原）

〒389-2292 長野県飯山市大字飯山 1110 番地 1

電話：0269-67-0724（直通） FAX：0269-62-5990

e-mail：senryaku@city.iiyama.nagano.jp

(別紙) 基本要件確認シート

No	項目	要件																
1	導入システム	財務会計システム																
2	利用者数	約 355 ユーザー																
3	管理者数	財政担当：5 ユーザー 会計担当：6 ユーザー																
4	現行システム	システム：FAST 財務会計システム（ジャパンシステム株式会社） 契約先：株式会社電算																
5	利用形態	クラウド方式（LGWAN-ASP、ベンダ提供のデータセンターに専用線で接続）																
6	機能要件																	
6-1		Windows10 および Windows11 のクライアント PC で利用可能であること																
6-2		Microsoft Edge で利用可能であること																
6-3		どの職位の職員（理事者含む）でもわかりやすく直感的な操作が可能なこと																
6-4		以下の主な機能を有していること <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">基本機能</td> <td>ユーザー管理等</td> </tr> <tr> <td>予算編成</td> <td>予算要求、予算査定、予算書作成</td> </tr> <tr> <td>予算執行</td> <td>予算管理、歳入管理、歳出管理、債権者管理、源泉徴収管理、執行状況照会、資金管理、決算書作成</td> </tr> <tr> <td>決算</td> <td>決算管理、決算統計、財務書類作成</td> </tr> <tr> <td>電子決裁</td> <td>決裁管理、ルート管理、代行管理</td> </tr> <tr> <td>起債管理</td> <td>償還計画管理</td> </tr> <tr> <td>備品管理</td> <td>備品登録、備品台帳</td> </tr> <tr> <td>総合計画管理</td> <td>実施計画、行政評価</td> </tr> </table>	基本機能	ユーザー管理等	予算編成	予算要求、予算査定、予算書作成	予算執行	予算管理、歳入管理、歳出管理、債権者管理、源泉徴収管理、執行状況照会、資金管理、決算書作成	決算	決算管理、決算統計、財務書類作成	電子決裁	決裁管理、ルート管理、代行管理	起債管理	償還計画管理	備品管理	備品登録、備品台帳	総合計画管理	実施計画、行政評価
基本機能	ユーザー管理等																	
予算編成	予算要求、予算査定、予算書作成																	
予算執行	予算管理、歳入管理、歳出管理、債権者管理、源泉徴収管理、執行状況照会、資金管理、決算書作成																	
決算	決算管理、決算統計、財務書類作成																	
電子決裁	決裁管理、ルート管理、代行管理																	
起債管理	償還計画管理																	
備品管理	備品登録、備品台帳																	
総合計画管理	実施計画、行政評価																	
6-5		既存システム（人事給与システム、総合収納システム等）からのデータ取込が可能であること ※システムで対応が難しい場合は代替案が提案可能であること																
7	保守運用要件																	
7-1		システム、稼働基盤の保守（パッチ適用、バージョンアップ等）を提供すること																
7-2		操作、運用の相談等に関するヘルプデスク、サポートデスクを設置すること																
7-3		稼働前に実機を使用した操作研修会を実施すること																
7-4		操作マニュアルを整備すること（PDF、動画など）																
8	その他																	
8-1		標準的なシステム利用料、保守運用費に含まれず、稼働後に追加費用が発生することが考えられる場合は条件を提示すること																
8-2		本書に記載の内容以外に、本市にとって有用な機能等があれば提案すること																